2026年11月12日

各　位

会 社 名　株式会社力の源ホールディングス
代表者名　代表取締役社長兼CEO　　山　根　智　之
（コード番号：3561　東証プライム）
問合せ先　IR室　室長　　藤　澤　成　駿
（TEL. 03-6264-3899）

剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議により剰余金の配当等を行うことができる旨を定款に定めております。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2026年5月14日公表)	前期実績 (2026年3月期中間)
基準日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	12円00銭 (普通配当11円00銭) (特別配当　1円00銭)	同左	10円00銭 (普通配当10円00銭)
配当金総額	362百万円	―	302百万円
効力発生日	2026年12月7日	―	2025年12月8日
配当原資	利益剰余金	―	利益剰余金

2. 理由

当社は、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保を総合的に勘案し、株主の皆様に対し安定的かつ継続的な利益還元を実施することを基本方針としております。配当水準の決定につきましては、配当性向に加えてDOE（純資産配当率）も踏まえ、自己資本の規模に見合う配当水準を総合的に判断してまいります。

当中間期は、国内外における原材料・人件費等のコスト上昇や天候の影響などにより、営業利益及び中間純利益が前年同期を下回りました。一方で、国内では2026年8月に実施した価格改定による客単価の上昇や、現場力の強化、DX施策による収益性の改善を進めており、海外でも不採算店舗の見直しや新市場・新業態への取り組みを進めるなど、業績の改善に向けた施策を着実に実行しております。グローバル展開を成長の柱とする方針に変わりはなく、中長期的な成長に対する見通しも変わっておりません。

当社は、こうした状況においても、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元を重視する基本方針を変更しておりません。配当性向は上昇する見込みですが、直近の配当予想のとおり、1株当たり12円00銭の中間配当を実施することといたしました。

なお、本日公表の「2027年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期連結業績予想を修正しておりますが、配当予想に変更はありません。

（参考）年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末	期末	年間
配当予想	―	12円00銭	24円00銭
当期実績	12円00銭 （普通配当 11円00銭） （特別配当 1円00銭）	―	―
前期実績（2026年3月期）	10円00銭 （普通配当 10円00銭）	10円00銭 （普通配当 10円00銭）	20円00銭 （普通配当 20円00銭）

以上